



校旗・校章制定

昭和四十二年十月八日

桜ヶ丘小学校校旗と校章は開校十年の輝かしい歴史と伝統とをめぐらした
は未来への限りなき希望を託して制定されました。

昭和四十二年十月八日、開校十周年記念と埼玉県開催の意義を記念して、
第十回秋季大運動会が行われました。その時開校十周年を記念して制定され
た校旗の披露式も厳粛かつ盛大に行われました。

午前十一時、木村一郎深谷市長をはじめとする来賓が教員、おみえになり
鼓留隊と器楽部が演奏する校歌が流れる中、全編映える校旗が騎手の
六年生根岸盛純さんに捧げられてトラックを一周しました。

校旗は、横十一、五センチメートル、縦九、五センチメートル、綾錦紫の地
に全長四段のぬいどりの校章を配し、桜ヶ丘小学校を象徴するにふさわしい、荘
重華麗なものです。

製作にあたっては、児童会教職員、PTA理事、特志賛助者等の浄財により、
東京松下商会の謹製によるものです。

校章は、つぎらの花の咲く丘に高くそびえた学びやほしと校歌に歌
われているように、桜の花の中に「小」つまり桜ヶ丘小学校が、桜の花びらと
花びらの間に丘が配されています。

校歌を作詞してくださった網島憲次先生は、開校式の祝辞の中で、この桜ヶ
丘から見える秩父連山や桜の唐沢堤の美しさにふれられ、「桜ヶ丘の名にふさ
わしく、明るく、仲よく、そして規律正しく、校風を打ち立てられますようおねが
いしてやみません」とおっしゃっています。校章には、その網島先生の思い
ものせられて、いるように感じます。